



## 平成 20 年度 画像保存セミナー

### 25 周年記念特別企画 - 画像保存の過去・現在・未来 -

日本写真学会の画像保存研究会では、次世代に伝えるべき記録や芸術作品としての写真画像、また他の画像記録物の確実な保存を目指し、その知識の普及と技術の確立のため、1984 年より写真の保存・修復に関するセミナー・シンポジウムを主催する等の活動を開始し、本年度開催で 25 回目を数えることになりました。セミナー開始以来現在まで、写真の記録的、芸術的価値はさらに広く一般に認識されるようになり、それにともない画像保存に対する意識も様々な分野で高まってまいりました。

今回は、25 周年を記念する特別企画として、「画像保存の過去・現在・未来」をキーワードに、例年よりも時間を拡張しての開催とし、東京都写真美術館長福原義春氏と画像保存研究の世界的権威でロチェスター工科大学画像保存研究所長のジェームズ・ライリー氏に特別講演をお願いしました。またライリー氏には、同研究所における画像保存研究への取り組み等についての講演をお願い致しました。さらに、映画フィルムの保存やデジタルメディアの保存についての講演、著名な写真家による写真制作の立場からの画像保存についての講演ほか、画像保存をめぐる様々な論点について討議を深めるパネルディスカッションも企画いたしました。

例年通りセミナー終了後、講演者と参加者が自由に情報や意見の交換をして頂けるよう懇親会も設けました。画像保存に関心のある方、関係分野の多くの方々のご参加を頂けますよう、ご案内申し上げます。

日時：10月30日(木) \*第1日は夕方みの開催です  
17時50分～19時30分(17:30 受付開始) 特別講演 1・2  
10月31日(金)  
9時50分～17時 (9:30 受付開始) 講演 3～7

場所：東京都写真美術館ホール  
東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内

主催 社団法人 日本写真学会  
協賛 日本写真芸術学会  
文化財保存修復学会  
財団法人 日本博物館協会  
東京都写真美術館

# セミナープログラム

10月30日(木)

17:30 受付開始

17:50 開会挨拶 セミナー実行委員長

18:00 特別講演1 . 文化的遺産としての写真 - 二つの時代に生きて -

東京都写真美術館 館長 福原義春

18:45 19~20世紀に蓄積された写真は人類の文化的遺産であり、その保存は写真美術館における優先課題の一つである。本講演では、写真家福原信三の甥としての個人的な体験談を交えつつ、東京都写真美術館における画像保存の現状と課題に触れ、これからの写真文化について論ずる。

18:45 特別講演2 . The Past and Future of Photograph Preservation (日本語通訳付)

米国ロチェスター工科大学画像保存研究所(IPI) 所長 ジェームス M.ライリー

19:30 30年余の自らの経験に基づき、日米欧における画像保存の黎明期とこれまでの進歩を振り返るとともに、今日、銀塩写真からデジタルイメージングへの移行が進み保存の技術や取り組みの方法が大きく変化してきている中でますますその重要性が高まっている写真画像保存の将来について展望する。

10月31日(金)

9:30 受付開始 (9:30までは建物内にお入りになれません)

9:50 開始挨拶 セミナー実行委員長

10:00 講演3 . An Overview of Recent Advances in Photograph Preservation (日本語通訳付)

米国ロチェスター工科大学画像保存研究所(IPI) 所長 ジェームス M.ライリー

11:30 IPI、Getty Conservation Institute、Boston Art Conservation など米国の画像保存研究機関における最近の研究成果を紹介し、芸術作品としての写真と記録のための写真における保存方法の違いを解説する。その際に重要となる保存環境と対象作品の物理的性質の把握の仕方についても説明する。

- 昼食休憩 (70分) -

12:40 講演4 . 光ディスクの寿命推定法とその国際標準化動向

(財)デジタルコンテンツ協会 高信頼光ディスク活用システム委員会主査 渡部篤美

13:30 近年、政府が取り組むe-Japan計画に基づく文書や民生用デジタル写真等の幅広い分野で、長寿命記録媒体が望まれている。ここでは(財)機械システム振興協会の委託を得て研究した、記録型DVDディスクの寿命推定法と推定寿命、推定法の国際標準化動向等について述べる。

13:30 講演5 . デジタルを通してフィルムが見える

フィルム・アーカイブの現場から  
国立近代美術館フィルムセンター 映画室長 とちぎあきら

14:20 デジタル技術が映像や音声の復元にとって当たり前になりつつある現在、フィルム・アーカイブの現場においては、ますます個々のフィルムの唯一性やフレーム単位の特異性を理解することが重要になってきている。近年フィルムセンターが取り組んできた映画フィルムの保存復元事業を例にしながら、映画フィルムの底力を喚起してみたい。

- 休憩 (5分) -

14:25 講演 6 . 写真家・美術館から見た画像保存

写真家・清里フォトアートミュージアム 館長 細江英公

15:15 「万物、形あるものすべからく滅すべし」とは普遍的原理であり、したがって写真画像と言えども永遠に保存することは不可能である。私は写真家であると同時に写真美術館の館長として、写真の現状保全の環境をつくり、それを後世に伝えていくという義務をもっている。本講演では、それぞれの立場の違いを明らかにして画像保存について論じる。

- 休憩 (10分) -

15:25 講演 7 . パネルディスカッション 画像保存の現状と将来を考える

<司会> コニカミノルタテクノロジーセンター(株) 河野純一

16:50

16:50 閉会挨拶 日本写真学会副会長

\* 講演 3~7 の時間には質疑・応答の時間を含みます。なお、講演者および他の参加者の迷惑となるだけでなく、著作権の問題を含みますので主催者以外の写真・ビデオの撮影、録音はご遠慮願います。

\* 閉会后、講演者と参加者の自由な情報交換の場として懇親会(下記参照)を行います。奮ってご参加ください。

---

## 参加申し込みについて

セミナー参加費(講演要旨集代金を含みます / 25周年特別企画として2日に渡る開催となりますが、参加費は例年と同額です)

日本写真学会および協賛学協会々員 ..... 6,000円

非会員 ..... 8,000円

学 生 ..... 2,000円

(日本写真学会の賛助会員所属で非個人会員の方の取り扱いに関しては、賛助会費の口数に応じた人数枠に対して申し込み順に会員扱いとなります。枠を超えた分は非会員扱いとなります。会員枠が残っているかどうかにつきましては、ご面倒でも事務局にお問い合わせ下さい。)

定 員 180名(定員になり次第締め切りますのでお早めにお申し込み下さい)

懇親会 講演者と参加者の自由な討論の場、および参加者相互の情報交換や交流を深める場として、セミナー終了後に下記のとおり懇親会を開きます。参加ご希望の方は郵便振替用紙の該当欄にその旨ご記入の上、会費をお送り下さい。

時間: 10月31日(金) 17時30分より

場所: 恵比寿ガーデンプレイスタワー3階 カフェテリア・エスパシオ

会費: 3,000円

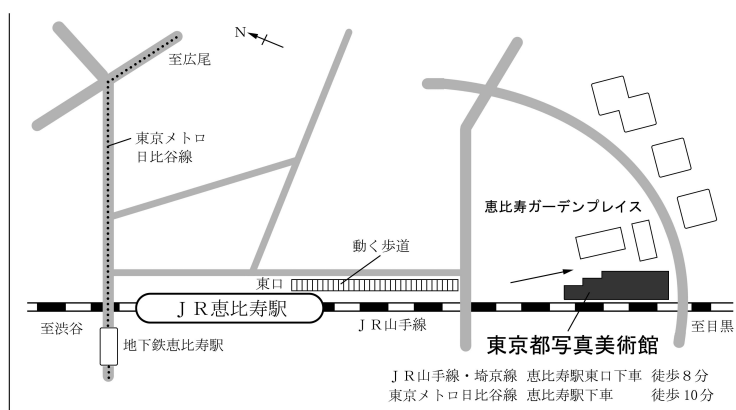
申込方法 郵便局備え付けの振替用紙をご利用になり、通信欄に「画像保存セミナー」とお書きのうえ、参加費区分（会員／非会員／学生）、勤務先、所属学協会名、懇親会参加の有無をお書き添え下さい。ご入金を確認し、参加証をお送り致します。また、懇親会に参加ご希望の方は会費も合わせお振り込み下さい。

写真学会、協賛学協会から配布するパンフレットに添付の振替用紙もご利用になれます。日本写真学会ホームページ <http://www.spstj.org/> から参加申込ができます。トップページの「最新イベント情報」、あるいは左肩「イベント」よりお入り下さい。その場合でも、参加費のお支払は、上記のように事前に郵便振込みでお願い致します。なお、一旦振り込まれた参加費の返却は致しかねますので、参加のご都合が悪くなった場合には代理の方の参加等でご対処をお願い申し上げます。

申込締切 平成 20 年 10 月 10 日（金）

送り先 〒164 -8678 東京都中野区本町 2 - 9 - 5 東京工芸大学内  
（社）日本写真学会 郵便振替口座番号：00130 - 6 - 72818

会場案内 東京都写真美術館ホール 東京都目黒区三田 1 - 1 3 - 3 恵比寿ガーデンプレイス内



このセミナーは、下記の組織で企画されました。

社団法人 日本写真学会

会 長：阿部隆夫 副会長：久下謙一 豊田堅二

画像保存セミナー実行委員会

委員長：吉田 成（東京工芸大学）

委 員：青木直和（千葉大学）

大西弘幸（セイコーエプソン）

河野純一（エニギルテクノロジーセンター）

高橋則英（日本大学）

宮田公佳（国立歴史民俗博物館）

上田耕一郎（東京工芸大学）

金沢幸彦（富士フィルム）

杉本和俊（コダック）

原 正人（日本大学）

山口孝子（東京都写真美術館）

社団法人 日本写真学会事務局

〒164 -8678 東京都中野区本町 2 - 9 - 5 東京工芸大学内

Tel. 03 -3373 -0724 Fax. 03 -3299 -5887